

(様式例第1)

番号
令和5年9月8日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

住所 千葉県鴨川市東町929番地
申請者
氏名 医療法人鉄蕉会
理事長 亀田 隆明

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒296-8602 千葉県鴨川市東町929番地
氏名	医療法人鉄蕉会 (理事長 亀田 隆明)

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

3 所在の場所

〒296-8602
千葉県鴨川市東町929番地

電話 (04) 7092 - 2211

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
52 床	床	床	床	865 床	917 床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) ※別紙参照 病床数 47 床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置(2台)、全自動糖分析装置 自動グリコヘモグロビン分析計、全自動化学発光免疫測定装置 全自動免疫発光測定装置、生化学・免疫検査統合型検査装置
細菌検査室	(主な設備) 細菌同定・薬剤感受性検査パネル自動測定装置、質量分析装置 血液培養自動分析装置、抗酸菌培養自動分析装置
病理検査室	(主な設備) 自動染色装置、液状処理細胞診システム、自動封入装置 自動包埋装置、自動免疫染色装置
病理解剖室	(主な設備) ストライカー
研究室	(主な設備) 電子カルテシステム、PC端末、プロジェクター、スクリーン ホワイトボード 他
講義室	室数 3 室 収容定員 200 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 1,000 冊程度(雑誌 210 種類)
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) トヨタ 高規格救急車、日産 救急車 輸液ポンプ、輸注ポンプ、LIFE SCOPE P、レルダール サクションユニット、オキシログ3000、cardiolife デファイブリエータ、LIFE SCOPE 保有台数 3 台
医薬品情報管理室	[共用室] 床面積 53.889 m ² 副作用情報センター、薬剤管理指導科と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

5 施設の構造設備

集中治療室 (主な設備)	MFICU (6床)	救急蘇生装置 除細動器 心電計 呼吸循環監視装置 新生児用人工換気装置 微量輸液装置 分娩監視装置 超音波診断装置
	NICU (27床)	救急蘇生装置 呼吸循環監視装置 新生児用人工換気装置 経皮的酸素分圧監視装置 経皮的酸素飽和度測定装置 酸素濃度測定装置 光線療法器 微量輸液装置 超音波診断装置
	ICU (14床)	救急蘇生装置 除細動器 ペースメーカー 心電計 ポータブルエックス線撮影装置 呼吸循環監視装置 人工呼吸装置 微量輸液装置 超音波診断装置

(様式例第2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	23.8 %	算定 期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	55.6 %		
算出 根拠	A：紹介患者の数	1,143人	
	B：初診患者の数	4,799人	
	C：逆紹介患者の数	2,667人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
		※別紙参照	常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	34床
専用病床	34床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤・専従	40時間	
2	医師		常勤・専従	40時間	
3	医師		常勤・専従	40時間	
4	医師		常勤・専従	40時間	
5	医師		常勤・専従	40時間	
6	医師		常勤・専従	40時間	
7	医師		常勤・専従	40時間	
8	医師		常勤・専従	40時間	
9	医師		常勤・専従	40時間	
10	医師		常勤・専従	40時間	
11	医師		常勤・専従	40時間	
12	医師		常勤・専従	40時間	
13	医師		常勤・専従	40時間	
14	医師		常勤・専従	40時間	
15	医師		常勤・専従	40時間	
16	医師		常勤・専従	40時間	
17	医師		常勤・専従	40時間	
18	医師		常勤・専従	40時間	
19	医師		常勤・専従	40時間	
20	医師		常勤・専従	40時間	
21	看護師		常勤・専従	40時間	
22	看護師		常勤・専従	40時間	
23	看護師		常勤・専従	40時間	
24	看護師		常勤・専従	40時間	
25	看護師		常勤・専従	40時間	
26	看護師		常勤・専従	40時間	
27	看護師		常勤・専従	40時間	
28	看護師		常勤・専従	40時間	
29	看護師		常勤・専従	40時間	
30	看護師		常勤・専従	40時間	
31	看護師		常勤・専従	40時間	
32	看護師		常勤・専従	40時間	
33	看護師		常勤・専従	40時間	
34	看護師		常勤・専従	40時間	
35	看護師		常勤・専従	40時間	
36	看護師		常勤・専従	40時間	
37	看護師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
38	看護師		常勤・専従	40時間	
39	看護師		常勤・専従	40時間	
40	看護師		常勤・専従	40時間	
41	看護師		常勤・専従	40時間	
42	看護師		常勤・専従	40時間	
43	看護師		常勤・専従	40時間	
44	看護師		常勤・専従	40時間	
45	看護師		常勤・専従	40時間	
46	看護師		常勤・専従	40時間	
47	看護師		常勤・専従	40時間	
48	看護師		常勤・専従	40時間	
49	看護師		常勤・専従	40時間	
50	看護師		常勤・専従	40時間	
51	看護師		常勤・専従	40時間	
52	看護師		常勤・専従	40時間	
53	看護師		常勤・専従	40時間	
54	看護師		常勤・専従	40時間	
55	看護師		常勤・専従	40時間	
56	看護師		常勤・専従	40時間	
57	看護師		常勤・専従	40時間	
58	看護師		常勤・専従	40時間	
59	看護師		常勤・専従	40時間	
60	看護師		常勤・専従	40時間	
61	看護師		常勤・専従	40時間	
62	看護師		常勤・専従	40時間	
63	看護師		常勤・専従	40時間	
64	看護師		常勤・専従	40時間	
65	看護師		常勤・専従	40時間	
66	看護師		常勤・専従	40時間	
67	看護師		常勤・専従	40時間	
68	看護師		常勤・専従	40時間	
69	看護師		常勤・専従	40時間	
70	看護師		常勤・専従	40時間	
71	看護師		常勤・専従	40時間	
72	看護師		常勤・専従	40時間	
73	看護師		常勤・専従	40時間	
74	看護師		常勤・専従	40時間	

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
75	看護師		常勤・専従	40時間	
76	看護師		常勤・専従	40時間	
77	看護師		常勤・専従	40時間	
78	看護師		常勤・専従	40時間	
79	看護師		常勤・専従	40時間	
80	看護師		常勤・専従	40時間	
81	看護師		常勤・専従	40時間	
82	看護師		常勤・専従	40時間	
83	看護師		常勤・専従	40時間	
84	看護師		常勤・専従	40時間	
85	看護師		常勤・専従	40時間	
86	看護師		常勤・専従	40時間	
87	看護師		常勤・専従	40時間	
88	看護師		常勤・専従	40時間	
89	看護師		常勤・専従	40時間	
90	看護師		常勤・専従	40時間	
91	看護師		常勤・専従	40時間	
92	看護師		常勤・専従	40時間	
93	看護師		常勤・専従	40時間	
94	看護師		常勤・専従	40時間	
95	看護師		常勤・専従	40時間	
96	看護師		常勤・専従	40時間	
97	看護師		常勤・専従	40時間	
98	看護師		常勤・専従	40時間	
99	看護師		常勤・専従	40時間	
100	看護師		常勤・専従	40時間	
101	看護師		常勤・専従	40時間	
102	看護師		常勤・専従	40時間	
103	看護師		常勤・専従	40時間	
104	看護師		常勤・専従	40時間	
105	看護師		常勤・専従	40時間	
106	看護師		常勤・専従	40時間	
107	看護師		常勤・専従	40時間	
108	看護師		常勤・専従	40時間	
109	看護師		常勤・専従	40時間	
110	看護師		常勤・専従	40時間	
111	看護師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
112	看護師		常勤・専従	40時間	
113	看護師		常勤・専従	40時間	
114	看護師		常勤・専従	40時間	
115	看護師		常勤・専従	40時間	
116	看護師		常勤・専従	40時間	
117	看護師		常勤・専従	40時間	
118	看護師		常勤・専従	40時間	
119	看護師		常勤・専従	40時間	
120	看護師		常勤・専従	40時間	
121	看護師		常勤・専従	40時間	
122	看護師		常勤・専従	40時間	
123	看護師		常勤・専従	40時間	
124	看護師		常勤・専従	40時間	
125	看護師		常勤・専従	40時間	
126	看護師		常勤・専従	40時間	
127	看護師		常勤・専従	40時間	
128	看護師		常勤・専従	40時間	
129	看護師		常勤・専従	40時間	
130	看護師		常勤・専従	40時間	
131	看護師		常勤・専従	40時間	
132	看護師		常勤・専従	40時間	
133	看護師		常勤・専従	40時間	
134	看護師		常勤・専従	40時間	
135	看護師		常勤・専従	40時間	
136	看護師		常勤・専従	40時間	
137	看護補助者		常勤・専従	40時間	
138	看護補助者		常勤・専従	40時間	
139	看護補助者		常勤・専従	40時間	
140	看護補助者		常勤・専従	40時間	
141	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
142	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
143	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
144	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
145	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
146	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
147	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
148	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
149	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
150	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
151	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
152	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
153	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
154	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
155	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
156	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
157	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
158	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
159	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
160	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
161	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
162	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
163	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
164	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
165	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
166	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
167	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
168	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
169	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
170	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
171	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
172	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
173	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
174	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
175	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
176	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
177	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
178	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
179	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
180	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
181	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
182	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
183	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
184	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
185	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
186	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
187	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
188	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
189	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
190	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
191	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
192	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
193	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
194	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
195	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
196	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
197	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
198	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
199	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
200	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
201	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
202	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
203	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
204	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
205	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
206	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
207	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
208	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
209	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
210	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
211	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
212	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
213	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
214	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
215	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
216	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
217	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
218	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
219	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
220	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
221	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
222	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
223	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
224	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
225	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
226	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
227	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
228	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
229	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
230	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
231	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
232	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
233	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
234	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
235	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
236	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
237	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
238	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
239	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
240	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
※別紙参照	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	

4 備考

- ・昭和60年2月1日に第3次救命救急センターの認定を受け、同年3月1日より運営を開始し、現在に至る。
- ・救命救急センター運営事業及び小児救急医療拠点病院運営事業を実施。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,011人 (1,343人)
上記以外の救急患者の数	15,471人 (588人)
合計	18,482人 (1,931人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	3台
---------------	----

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター (1階・2階)	2683.35 m ²	(主な設備) 診察室 観察室 処置室 一般撮影室 … X線撮影装置 CT撮影室 … CT撮影装置	可
画像センター	1306.44 m ²	(主な設備) 胸部撮影室 … X線撮影装置 一般撮影室1 … X線撮影装置 一般撮影室2 … X線撮影装置 第一心臓血管撮影室 … 血管撮影装置 第二心臓血管撮影室 … 血管撮影装置 血管撮影室 … 血管撮影装置 血管内治療室 … 血管撮影装置 MDCT室 … CT撮影装置 ADCT室 … CT撮影装置 K10CT室 … CT撮影装置 MRI撮影室(18番) … MRI撮影装置 MRI撮影室(19番) … MRI撮影装置 X線TV室 … X線TV装置 体外計測室1(RI室) … デジタルガンマカメラ 体外計測室2(RI室) … デジタルガンマカメラ ハイブリッドオペ室 … 血管撮影装置(ハイブリッド装置)	可
内視鏡センター	552.72 m ²	(主な設備) ES-1 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 生態情報モニター 超音波観測装置 動画記録装置 ES-2 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生態情報モニター ES-5 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生態情報モニター 超音波観測装置 ES-6 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生態情報モニター BD録画機 全身麻酔用配管 麻酔器 X線TV室1 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生態情報モニター X線透視装置 全身麻酔用配管 超音波観測装置 胆管・膵管鏡システム 動画記録装置	可

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

		X線TV室2	…ビデオシステムセンター… 光源装置 各種内視鏡 生体情報モニタ 汎用冷凍手術ユニット PDレーザ装置 X線透視装置 超音波観測装置	可
緊急検査室	49.94 m ²	(主な設備)	生化学自動分析装置 血液ガス・電解質分析装置 自動血球算定装置 全自動血液凝固測定装置 尿自動分析装置 全自動科学発光免疫測定装置	可

(様式例第4) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

他医療機関からの紹介入院は多々あるものの、時間の有効利用の面から開放病床等の共同利用には繋がっておりません。

※別紙参照

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

(共同利用可能設備)

- ・救急外来診療施設及び医療機器
- ・画像診断装置各種
- ・手術室及び手術用機器等
- ・検査機器各種
- ・リハビリテーション室
- ・旧2号館1階研修室・講義室及び設置備品器具
- ・Kタワー12階 会議室
- ・Kタワー13階 多目的ホール
- ・Kタワー5階 CSSセンター
- ・A棟9階 会議室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: XXXXXXXXXX
職 種: 地域医療支援

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
※別紙参照				

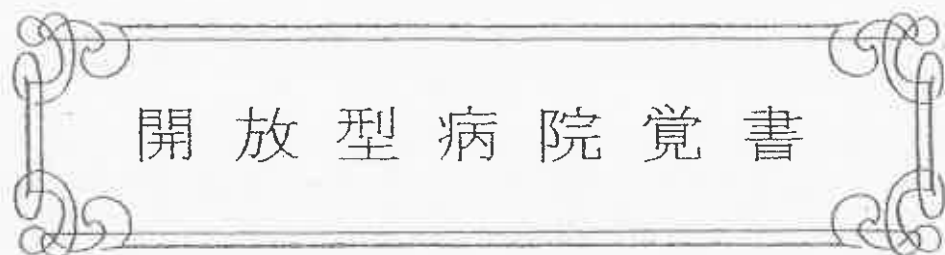
注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

30 床

1 共同利用の実績 2022年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
CT	12	8	16	13	17	8	8	14	11	10	16	13	146
MR	12	14	34	21	13	14	18	24	16	12	11	20	209
内視鏡	18	12	10	14	7	10	11	12	8	5	11	17	135
骨シンチ	2	2	2	0	1	1	2	0	0	1	2	0	13
脳血流	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	4
エコー	3	1	3	1	0	0	0	0	0	1	1	2	12
脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PET-CT	3	6	2	1	4	6	7	5	2	8	2	4	50
総数	50	43	68	50	44	39	47	55	37	37	43	56	569



開放型病院覚書

覚 書

社団法人安房医師会（以下「甲」という。）と医療法人鉄蕉会亀田総合病院（以下「乙」という。）は、地域医療機関との有機的連携を図り、医療の進歩に対応した地域医療の向上に資するため、次のとおり覚書を取り交わすものとする。

（開放型病床の設置）

1条 乙はその施設内に開放型病床として10床を設置するものとする。

（登録医）

2条 開放型病床を利用出来る医師は、回診のために来院可能な医師で、甲が推薦し乙に登録したものとする。

（開放型病床の運営）

3条 開放型病床の運営は、概ね次のとおりとする。

（1）登録医は、開放型病床における入院患者の主治医となるものとする。

（2）開放型病床における入院患者の入院期間は、原則として1ヶ月をこえないものとする。

（3）開放型病床の看護管理は、亀田総合病院看護部長が総括するものとする。

（医療機器の共同利用）

4条 登録医は、乙の諸規定の定めるところに従い、医療機器を共同利用することができるものとする。

（共同研修）

5条 登録医は、乙における研究会等に乙の医師とともに参加することができるものとする。

（診療責任）

6条 登録医・担当医は、法令の定めるところに従い責任をもって診療にあたるものとする。

（賠償責任）

7条 登録医は、乙において診療業務に従事した際、受診者から損害賠償請求の訴えを提起された場合には、登録医・担当医両者が全面的に協力するものとし、いずれかが賠償責任を負担しなければならない場合には、両者に故意又は重大な過失がない限り、乙においてその損失を全額填補するものとする。

覚 書

(開放病床数の変更)

社団法人 安房医師会 (以下「甲」という) と、医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院 (以下「乙」という) の間で平成9年6月10日付で取り交わした「開放型病院覚書」について下記のように一部変更するものとする。

記

変更部分

- ・変更前：1条 乙はその施設内に開放型病床として10床を設置するものとする。
- ・変更後：1条 乙はその施設内に開放型病床として30床を設置するものとする。

変更理由

- ・開放型病床設置にあたり届出前30日間の実績を集計した結果、開放病床10床では利用率が100%を超えてしまい開放病床を利用できないケースが発生する可能性があるため、開放病床を30床として有効に利用できるよう改善を図るため。

平成9年8月 日

社団法人 安房医師会
会 長

医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院
理 事 長 亀 田 俊

亀田総合病院運営規定

第1章 総則

第1条 亀田総合病院（以下、本病院という）は、社団医療法人鉄蕉会（以下、鉄蕉会）がその事業の一環として開設する。

第2条 本病院の所在地は千葉県鴨川市東町929番地とする。

第3条 本規定は、本病院の運営管理にかかわる概要を示すものである。

第4条 本病院は、鉄蕉会が運営管理を行い科学的で且つ適正な医療を普及することを目的とする。又、その目的のため以下の業務を行う。

- ① 医療及び医療施設の高度化ならびに近代化の促進。
- ② 医療従事者の教育研修。
- ③ 臨床研究会の設置及び運営。
- ④ 産業医・学校医検診業務の受託。
- ⑤ 地域医療機関との施設共同利用。
- ⑥ 救命救急医療の促進。
- ⑦ その他

第2章 運営管理

第5条 本病院は、鉄蕉会理事長が代表して管理運営を総括する。

2. 本病院の院長（以下、院長という）は、鉄蕉会理事長（以下、理事長という）の命を受け本病院の管理運営にあたる。

3. 本病院の副院長（以下、副院長という）は、院長を補佐し院長の命により1名は診療部門の統括管理を行い、1名は事務部門の統括管理を行う。

第6条 本病院には病院運営委員会（以下、運営委員会）を置く。

2. 本条第1項に定める運営委員会は鉄蕉会理事会（以下、理事会という）に置く。

3. 運営委員会の構成は、以下のとおりとする。

理事長、院長、副院長及び理事長の任命する鉄蕉会役員 of 若干名とし、委員の任期は2年とする。

第7条 本病院の院長及び副院長は、理事長が理事会に諮り選任する。

- ④ 本病院の解散
- ⑤ その他特に重要な事項

第13条 第11条に規定する会議及び委員会は、第12条に定める以外の全ての事項を決議する。

2. 会議及び委員会は、事務局及び委員長がそれを招集して定例会議を行う。
3. 会議及び委員会は必要に応じて諮問委員会を設置し、その答申を求めることができる。
4. 会議及び委員会は、各会議及び委員会の運営規定に定める出席者数をもって開催し、議決は過半数以上を以って決するものとする。

第14条 診療部門、薬剤部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門は、部門長を議長とし定期的に会議を行い各部門の活性化を図る。

2. 各部門に所属する各部門は、所属長を議長とし業務連絡会を開催し、業務上の問題を部門長へ提言することができる。

第15条 本病院の院長は、運営の円滑化と各部門の連携を強化するため、各部門の部門長及び所属長を招集し病院内連絡会を開催する。

第5章 権限の委譲

第16条 代決、専決、権限の委譲、特に各会議及び各委員会の下部運営機関の長への委譲は、運営細則を設けて別に定める。

第6章 資産及び会計

第17条 本病院の資産及び会計は、鉄蕉会定款第4章の資産及び会計に準ずる。

第7章 別規定及び規定

第18条 本規定に基づく、運営細則並びに別規定は、理事会の決議を経て本病院の院長がそれを定める。

第8章 解散

第19条 本病院を解散した時は、鉄蕉会理事がその精算人となる。但し、理事会の決議により、理事以外からこれを選出することができる。

4 登録医療機関の名簿

	医療機関名	院長名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	石川外科内科クリニック	石川 桂子	鴨川市横渚1056-3	内・外・胃・整リハ・小・小外	無
2	伊藤胃腸科クリニック	伊藤 孝子	鴨川市横渚697	胃・外・内・肛	無
3	エビハラ病院	武士 昭彦	鴨川市太海630	内・リハ	無
4	小田病院	小田 常人	鴨川市横渚880	内・胃・小・整・皮・リハ・外	無
5	鴨川市立国保病院	小橋 孝介	鴨川市宮山233	内・小・外・歯・整	無
6	東条病院	服部 憲明	鴨川市広場1615	内・消・循・外・呼・放・小・整・泌・皮・リハ	無
7	東条メンタルホスピタル	金井 重人	鴨川市広場1338	精・神	無
8	眞木クリニック	眞木 寿之	鴨川市西江見131	内・心療・精・神内・小	無
9	青木内科クリニック	青木 洋敏	南房総市安馬谷2071	内・小・産・婦	無
10	石井クリニック	石井 義縁	南房総市白子2131	内・外・リハ・美容皮膚科	無
11	生方内科クリニック	生方 英一	南房総市富浦町原岡137-1	内・外・小・整・リハ・皮・放	無
12	白浜中央医院	鈴木 季人	南房総市白浜町白浜2887-1	内・小・リハ	無
13	中原病院	大山 英樹	南房総市和田町仁我浦19-1	内・小・整・美・耳・消化器内科・リハ・泌	無
14	七浦診療所	田中 かつら	南房総市千倉町大川912-2	内・神内・老年内科・整	無
15	花の谷クリニック	伊藤 真美	南房総市千倉町白子2446	内・心療・精	無
16	原診療所	原 太郎	南房総市富浦町原岡228-1	内・泌	無
17	松永医院	松永 平太	南房総市千倉町平館717	内・外・小・皮・リハ	無
18	間宮医院	間宮 聰	南房総市和田町仁我浦123	内・小	無
19	南房総市立富山国保病院	鈴木 孝徳	南房総市平久里中1410-1	内・呼・消・外・整・肛・リハ	無
20	南房総ファミリアクリニック	山倉 幹丈	南房総市本織43-1	内・整・小・皮・眼	無
21	三芳病院	土屋 尚生	南房総市本織47	精・神内・内	無
22	和顔医院	和顔 房代	南房総市白浜町白浜2667	内・呼・小・耳	無
23	青柳内科クリニック	青柳 和美	館山市高井177-2	内・糖尿病内科(代謝内科)	無
24	赤門整形外科内科	宮川 準	館山市沼1619	内・外・小・整・リハ	無
25	安房地域医療センター	福内 正義	館山市山本1155	内・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・ア・リウ・小・外・泌・麻・糖尿病内分泌内科・神内・救急科・乳腺外科・腎臓内科・人工透析内科・整・腫瘍内科・リハ・放・皮・形	有
26	清川医院	齋藤 つとむ	館山市北条1548	内・小・美容皮膚科・産・婦	無
27	九重鈴木医院	鈴木 丹	館山市蘆字平池168-1	内・外・小・胃・肛・リハ	無
28	小林病院	小林 剛	館山市船方909	内・消化器内科・整・リハ	無
29	佐伯医院	佐伯 雅基	千葉県館山市北条2308-7	眼	無
30	鈴木医院	鈴木 雅夫	館山市犬石1495	内・小	無

4 登録医療機関の名簿

	医療機関名	院長名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
31	ぞうさん耳鼻咽喉科クリニック	若林 生恵	館山市北条1355-40	耳	無
32	館山特別養護老人ホーム	忍足 俊之	館山市湊373		無
33	館山病院	竹内 信一	館山市北条520-1	内・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・神内・外・皮・泌・脳・整・精・心療・リハ・放・歯・歯口	無
34	たてやま友愛クリニック	若林 敏弘	館山市北条1715	内・外・小	無
35	田村病院	田村 利純	館山市館山183	精・心療・内	無
36	西岬診療所	小谷 有理子	館山市早野28	内・循・小	無
37	野原皮膚科内科医院	野原 正	館山市北条1888	内・小・皮	無
38	原クリニック	原 徹	館山市長須賀515	内・泌	無
39	平野眼科	平野 晴夫	館山市船形443	眼	無
40	北条クリニック	和田 一恵	館山市北条1096-1	内	無
41	北条病院	角田 眞一郎	館山市北条1089	内・循環器内科	無
42	鋸南町国民健康保険鋸南病院	山本 大夢	安房郡鋸南町保田359	内・神内・消・小・外・整・皮・泌・眼	無
43	鋸南やまだ内科医院	山田 茂	安房郡鋸南町保田28-1	内・神内	無
44	特別養護老人ホーム鋸南苑	前田 義夫	安房郡鋸南町保田854-1		無
45	越後貫医院	越後貫 聖	勝浦市壘名672	内・消化器内科・皮	無
46	勝浦整形外科クリニック	有馬 三郎	勝浦市壘名485-252	内・リウ・整・リハ	無
47	川上医院	川上 新仁郎	勝浦市興津147	内・消・外	無
48	塩田病院	塩田 吉宣	勝浦市出水1221	内・精・神内・ア・リウ・小・外・整・脳・皮・泌・婦・眼・耳・リハ・放・麻・消化器内科・消化器外科・肛門外科・循環器内科・呼吸器内科・心臓血管外科	無
49	大多喜病院	鶴岡 義明	夷隅郡大多喜町上原786	内・精・神・耳・リハ	無
50	小高外科内科	小高 達朗	夷隅郡大多喜町大多喜62	外・内・呼・消・循・小・放	無
51	川崎病院	大下 正晃	夷隅郡大多喜町泉水674	内・呼・消・循・リウ・小・外・整・小外・皮・泌・リハ	無
52	ラビドールクリニック	深井 直実	夷隅郡御宿町御宿台132	内・眼	無
53	いすみ医療センター	伴 俊明	いすみ市苅谷1177	内・消・小・外・整・脳・皮・泌・婦・眼・耳・リハ・放・歯・神内	無
54	大原医院	中村 雄三	いすみ市大原8773	内・小・外・脳・放	無
55	大原台クリニック	土居 暢庸	いすみ市大原台424-4	内・脳・小・外	無
56	土屋外科内科医院	土屋 博	いすみ市大原8582	内・外・皮・泌・放	無
57	永津さいとう医院	木元 博史	いすみ市岬町江場土1732	内	無
58	ひあり内科医院	長谷川 政二	いすみ市日在1947-10	内・神内・小・リハ	無
59	岬病院	塚田 隆	いすみ市岬町桑田2531	内・リハ	無
60	前田記念 大原クリニック	横田 昌典	いすみ市大原1937-2	内	無

4 登録医療機関の名簿

	医療機関名	院長名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
61	山本医院	山本 和男	いすみ市岬町東中滝719-3	内・小	無
62	吉田外科内科	吉田 賢一郎	いすみ市岬町	内・外・消化器内科・整・皮・泌・美容皮膚科	無
63	塩田記念病院	青柳 傑	長生郡長柄町国府里550-2	脳・外・内・リハ・放・耳・整・脳神経内科・呼吸器内科・循環器内科・婦・泌・麻・ペインクリニック内科・救急科	無
64	聖光会病院	齋藤 光徳	長生郡長柄町立鳥745-1	内・神内・胃・リハ・整	無
65	長島医院	長島 通	長生郡一宮町一宮2551-6	内・胃・外・肛・リハ	無
66	茂原中央病院	若林 巳代次	茂原市下永吉796	内・外・整・神内・皮・リハ・泌・心療	無
67	山之内病院	武田 従信	茂原市町保3	内・神内・呼・循・ア・リウ・小・外・整・泌・婦・リハ・糖尿内科・眼・消化器内科・腎臓内科	無
68	鈴木病院	鈴木 研也	君津市上238	内・胃・外・皮・リハ・乳腺外科・肛門外科	無
69	千葉美蓉病院	大津 裕司	千葉県君津市広岡297-1	内	無
70	まえたクリニック	前田 直希	千葉県君津市浦田2-1	内・小	無
71	上総在宅診療所	肌付 英幸	千葉県木更津市ほたる野1-7-3	内・精	無
72	コンフォート君津クリニック	白土 瑞枝	千葉県木更津市畑沢南6-26-3	内	無
73	桜井医院	櫻井 渉	千葉県木更津市ほたる野1-28-3	内・消・胃・ア・小	無
74	重城病院	重城 保之	千葉県木更津市万石341-1	内・胃・循・外・整・肛・皮	無
75	はぎわら病院	萩原 秀思	千葉県木更津市木更津1-1-36	内・呼・消・胃・循・外・整・リハ・麻	無
76	鈴木内科クリニック	鈴木 俊彦	千葉県富津市長崎331-3	内・皮・リハ・腎臓内科・糖尿病内科・人工透析内科	無
77	原田内科小児科医院	原田 裕美子	千葉県富津市湊497-5	内・神・消・小・放	無
78	わたしたちの生きる証	鈴木 俊彦	千葉県富津市長崎字熊ノ下274		無
79	袖ヶ浦さつき台病院	菊池 周一	千葉県袖ヶ浦市長浦駅前5-21	内・心療・精・神・神内・外・整・脳・皮・眼・耳・リハ	無
80	さんむ医療センター	篠原 靖志	千葉県山武市成東1326	内・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・外・小・整・脳・耳・眼・泌・皮・小外・麻・歯口・リハ・産婦	無
81	湘南台プレストクリニック	寺岡 晃	神奈川県藤沢市湘南台1-1-6	乳腺外科	無
82	とうごう歯科口腔外科医院	東郷 拓也	千葉県香取市小見川592	歯	無
83	みるみる内科と在宅クリニック	小林 達雄	千葉県木更津市清見台南5-1-4	内	無
84	よこすか内科小児科・はるこレディースクリニック	横須賀 淳	千葉県木更津市金田東6-47-21	内・婦・小	無

(様式例第5) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

①死亡症例検討会	⑧がん看護勉強会
②講演・学術講演会	⑨緩和ケア研修会
③臨床・神経病理ジョイントカンファレンス	⑩終末期看護研修会
④看護教育研修	⑪交流会
⑤地域リハビリテーション支援推進研修会	※別紙参照
⑥高次脳機能障害支援普及事業研修会	
⑦感染教育学術講演会	

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	104 回
(2) (1) の合計研修者数	1,640 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
 イ 研修委員会設置の有無 有 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	小児外科	部長/ 卒後研修センター長	19 年	卒後教育委員長
	歯科医師		継続学習センター長 / 歯科医師卒後研修 室 室長/ 歯科センタ ー センター長補佐/ 研究研修部 部長	39 年	
	医師	総合内科		39 年	非常勤
	医師	在宅診療科	部長/ 地域医療支援部 部長	29 年	
	看護師	看護部		34 年	応急手当講座講師

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

令和4年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

死亡症例検討会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
①	4月27日	医師	背部痛、食欲不振で発症し、高DL血症血小板減少を認め、1ヶ月半程度の経過で亡くなった60歳代男性の一例	58名
	5月25日	医師	急性下肢虚血を契機に全身血栓症が判明した30歳代女性の一例	54名
	6月29日	医師	全身性アミロイドーシスの診断2年後に、低体温・意識障害となり、急性経過で亡くなった80歳代男性の一例	56名
	7月27日	医師	様々な日和見感染症を発症し、経過中急な経過で亡くなったHIV感染のある40歳代男性の一例	45名
	8月31日	医師	呼吸不全で入院となり、経過中に全身性血栓を認めた80歳代女性の一例	47名
	9月28日	医師	悪性リンパ腫に対して化学療法を施行したが、診断後10ヶ月で急激な経過で他界された40歳代男性の一例	55名
	10月26日	医師	転移性胃がんの化学療法後寛解中、急激な経過で呼吸不全となり他界された70歳代男性の一例	47名
	11月29日	医師	呼吸不全で発症した子宮頸がんに対する治療中、診断後1年で他界された60歳代女性の一例	44名
	1月25日	医師	悪性リンパ腫の診断から2年後、治療開始前に急死した30歳代男性の一例	57名
	2月22日	医師	好酸球増多を伴う原発不明がんに対して化学療法を施行するも、診断から3か月で急逝された60歳代男性の一例	47名

小計 510名

講演・学術講演会：令和4年度は新型コロナ禍の影響で全てウェブにて開催

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
②	5月19日	全職員	乳腺科ウェブ講演会	名
	6月1日	全職員	糖尿病内分泌内科ウェブ講演会	名
	6月7日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会	名
	6月9日	全職員	腎臓内分泌内科ウェブ講演会【フオーガ適応拡大記念講演会～心と腎を診る～】	名
	6月9日	全職員	乳腺科ウェブ講演会【乳癌診療における包括的な治療戦略やご施設の取り組みについて】	名
	6月14日	全職員	パーキンソン病の薬物治療を考える会	名
	6月15日	全職員	産婦人科ウェブ講演会	名
	6月20日	全職員	糖尿病内分泌内科ウェブ講演会【SGLT2阻害薬の活かし方を考える会】	名
	7月4日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会【第23回南総認知症研究会】	名
	7月7日	全職員	乳腺科ウェブ講演会	名
	7月12日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会	名
	7月14日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会【第6回てんかんフォーラム】	名
	7月25日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会【精神科×脳神経内科クロストーク】	名
	7月29日	全職員	腎臓内分泌内科ウェブ講演会【安房腎移植セミナー】	名
	8月4日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会	名
	8月23日	全職員	乳腺科ウェブ講演会【The APEX (All Japan Experts) Web Forum of HALAVEN】	名
	8月25日	全職員	呼吸器内科ウェブ講演会	名
	8月28日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会	名
	8月31日	全職員	循環器内科ウェブ講演会【トータルケアWebセミナー】	名
	9月7日	全職員	総合内科ウェブ講演会【急性期病でのアドバンス・ケア・プランニング】	名
	9月8日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会【脳卒中トータルケアセミナー】	名
	9月21日	全職員	血液腫瘍内科ウェブ講演会【Lymphoma Zoom Seminar】	名
	9月27日	全職員	糖尿病内分泌内科ウェブ講演会	名
	9月30日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会【若手医師のためのパーキンソン病診療セミナー】	名
	10月6日	全職員	循環器内科ウェブ講演会【高齢者トータルケアWebセミナー】	名
	10月13日	全職員	糖尿病内分泌内科ウェブ講演会	名
	10月14日	全職員	心療内科・精神科ウェブ講演会【うつと腹痛のwewセミナー】	名
	10月26日	全職員	脊柱脊髄外科・疼痛緩和ケア科ウェブ講演会【痛みのトータルケア】	名
	10月27日	全職員	呼吸器内科ウェブ講演会【ILD SEMINAR IN KAMOGAWA】	名
	10月28日	全職員	糖尿病内分泌内科ウェブ講演会	名
	11月10日	全職員	乳腺科ウェブ講演会【The APEX (All Japan Experts) Web Forum of HALAVEN】	名
	11月16日	全職員	呼吸器内科ウェブ講演会	名
	11月17日	全職員	呼吸器内科ウェブ講演会	名
	11月18日	全職員	腫瘍内科・耳鼻咽喉科ウェブ講演会	名
	11月28日	全職員	呼吸器内科ウェブ講演会	名
	12月8日	全職員	乳腺科ウェブ講演会	名
	12月8日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会	名
	12月21日	全職員	腫瘍内科ウェブ講演会	名

令和4年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

②	1月24日	全職員	整形外科ウェブ講演会	- 名
	1月24日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会【Migraine National Web】	- 名
	2月2日	全職員	呼吸器内科ウェブ講演会	- 名
	2月9日	全職員	乳腺科ウェブ講演会	- 名
	2月16日	全職員	脳神経内科ウェブ講演会	- 名
	3月1日	全職員	循環器内科ウェブ講演会【ピンダケルインターネットシンポジウム】	- 名
	3月1日	全職員	放射線科ウェブ講演会【医師キャリアパス】	- 名

小計 7 名

臨床・神経病理ジョイントカンファレンス

開催日	受講対象	研修内容	参加者数
4月23日	医師/その他	右下肢の筋力低下で発症後、比較的急速に症状が進行し、全経過2年で死亡した筋萎縮性側索硬化症の72歳男性例	10 名
5月28日	医師/その他	発症から5ヶ月、急速に進行し初回精査入院中に亡くなられた球麻痺型ALSの72歳女性例	6 名
6月18日	医師/その他	semantic dementiaの症例検討	8 名
7月16日	医師/その他	pellagra脳症について	9 名
8月20日	医師/その他	ALSについて	9 名
9月17日	医師/その他	急速な経過を辿り右脳萎縮を伴った筋萎縮性側索硬化症の一例	8 名
10月22日	医師/その他	global C P Cで呈示された進行性核上性麻痺の症例	9 名
11月19日	医師/その他	Global neuro C P Cよりpure autonomic failureの症例	7 名
12月3日	医師/その他	パーキンソン病18年目で誤嚥性肺炎で死亡した87歳女性例	6 名
2月4日	医師/その他	抗MOG抗体陽性急性散在性脳脊髄炎4年目に菌血症で死亡した74歳男性例	6 名
2月18日	医師/その他	2型糖尿病教育入院中に窒息による心肺停止状態に陥り、原因としてコリン作動性クレーゼと神経変性疾患が疑われた62歳女性例	7 名
3月18日	医師/その他	パーキンソン病18年目で誤嚥性肺炎で死亡した87歳女性例	6 名

小計 93 名

看護教育研修

開催日	受講対象	研修内容	参加者数
2022年6月22日～2023年3月8日の期間で10回開催	看護管理者	「看護管理コース」 1. 看護専門職として必要な管理に関する知識・技術・態度を学ぶ 2. 理論と実践を統合し、問題解決の実践を行うことで、前向きな思考を身につける 3. 看護を提供するための組織並びにその一端を担うために必要な知識・技術・態度を学ぶ	12 名
2022年6月10日～2023年3月3日の期間で9回開催	看護スタッフ	「看護教育コース」 1. 看護教育を行う上で必要な知識・技術・態度を学ぶ 2. 自己の教育実践評価を通し教育能力向上に努める	12 名
2022年7月26日・9月27日	看護スタッフ	「リーダーシップを学ぼう」 1. チームリーダーとはなにかを知る 2. 組織の一員としてのリーダーの役割・機能を知る	130 名
2022年11月9日	看護スタッフ	「リーダーシップ能力を高めよう」 チームリーダーをとる上での自己の課題を知る	48 名
2022年11月22日	看護スタッフ	「急変予防（応用編）～もう夜勤は怖くない自信が持てるMETコール～」 1. チームのリーダーとして生命の危機を予防するための 2. 知識と対応能力を高め、スタッフへ指導する	35 名

令和4年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

④	2022年10月5日	看護スタッフ	「在宅の暮らしを支援する～退院指導計画まで～」 1. 病棟のナースカンファレンスで、退院にむけた問題点を抽出し退院指導計画が立案出来る	30名
	2022年9月13日	看護スタッフ	「意思決定支援」 1. 患者・家族の意思決定を支えるための基礎的知識を学ぶ 2. アドバンス・ケア・プランニング (ACP) について理解する	41名
	2022年12月14日	看護スタッフ	「問題解決能力を高めよう」 1. 問題解決思考を深める 2. チームリーダーとして必要な思考と態度 (分析的視点から)	36名
	2022年6月14日～2023年1月10日の期間7回開催	看護スタッフ	「褥瘡ケア」 褥瘡予防と創傷治癒に関する基礎的知識と技術を身につけ病棟での実践と指導に活かす 1. 患者個々に合ったケアプランの立案ができる。 2. 褥瘡予防のための看護技術が実施できる。	29名
	2022年9月30日	看護補助者	認知症の人への関わり 1. 認知症とは何かを知る 2. 認知症の人への関わりを知る 認知機能の低下した対象者への基本的な関わり方の知識と技術を知り現場実践につなげる	19名
	2022年5月16日	看護補助者	窒息・誤嚥予防 窒息・誤嚥予防の基礎知識を学ぶ	10名
	2022年7月27日	看護補助者	接遇 (技術) 1. 一般的接遇技術と多くみられるトラブルとその回避方法 2. クレーム発生時の初期対応について 3. 接遇の基礎について (言葉遣い)	12名
	2022年11月11日	看護補助者	安全管理 1. 起こしやすい事故について学ぶ 2. 事故を回避するための手段を知る 3. 事故を回避するための手段を知る (KYTについて理解する)	14名

小計 428名

地域リハビリテーション支援推進研修会

開催日	受講対象	研修内容	参加者数
11月18日	地域の医療福祉介護従事者等	共生社会・合理的配慮に関する研修	80名
11月22日	地域の医療福祉介護従事者等	車いす・白杖介助研修	10名
12月6日	地域の医療福祉介護従事者等	ADL評価方法研修	5名
1月11日	地域の医療福祉介護従事者等	高齢者保健福祉計画を読み、地域について深めてみよう研修	21名
2月4日	地域の医療福祉介護従事者等	第14回 南房総リハビリテーション・ケア文化祭	201名

小計 317名

高次脳機能障害支援普及事業研修会

開催日	受講対象	研修内容	参加者数
4月16日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10名
5月21日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10名
6月18日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	26名
7月16日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10名
10月22日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	15名
11月19日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10名
12月24日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	15名
1月21日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10名
2月18日	一般医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10名

小計 116名

感染教育学術講演会：令和3年度は新型コロナ禍の影響でDVD視聴にて実施

開催日	受講対象	研修内容	参加者数
7月21日	医療従事者	標準予防策	1名
10月3日	医療従事者	院内の感染予防策 (感染経路別の予防策について)	1名

小計 2名

令和4年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

がん看護勉強会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑧	6月25日	看護師	がん看護コミュニケーションコース研修 1	19 名
	7月9日	看護師	がん看護コミュニケーションコース研修 2	16 名
	11月26日	看護師	がん看護基礎コース研修 1	27 名
	12月3日	看護師	がん看護基礎コース研修 2	25 名
小計				87 名

緩和ケア研修会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑨	4月2日	医療従事者	緩和ケア研修会－集合研修	32 名
小計				32 名

終末期看護研修会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑩	1月21日	看護師	ELNEC-Jちばコアカリキュラム看護師教育プログラム 1	13 名
	2月4日	看護師	ELNEC-Jちばコアカリキュラム看護師教育プログラム 2	13 名
小計				26 名

交流会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑪	10月27日	看護師	2022年患者交流会	31 名
小計				31 名

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要	
旧2号館研修室	112.41 m ²	(主な設備) ①ビデオデッキ ②レーザーポインター ③マイク&スピーカ ④プロジェクター(PC/ビデオ) ⑤スクリーン1台	⑥PC 端末2台 ⑦心肺蘇生用人形 成人—9体 上半身2体 小児—10体 乳児—10体 ⑧AED—7台
旧2号館講義室	74.94 m ²	(主な設備) ①ビデオデッキ ②レーザーポインター ③マイク&スピーカ ④プロジェクター(PC/ビデオ) ⑤スクリーン1台	⑥PC 端末2台 ⑦心肺蘇生用人形 成人—9体 上半身2体 小児—10体 乳児—10体 ⑧AED—7台
研修棟2階研修室	109.51 m ²	(主な設備) ①プロジェクター(PC/ビデオ) ②レーザーポインター ③マイク&スピーカ	④スクリーン ⑤PC 端末1台
K棟5階 CSSセンター	300 m ²	(主な設備) ※別紙参照	
K棟12階会議室	104.27 m ²	(主な設備) ①スクリーン ②PCプロジェクター ③CDプレーヤー ④MDプレーヤー	⑤DVDプレーヤー ⑥ビデオデッキ ⑦OHP(普通紙対応) ⑧マイク
K棟13階ライオンホール	189.24 m ²	(主な設備) ①スクリーン ②PCプロジェクター ③CDプレーヤー ④MDプレーヤー	⑤DVDプレーヤー ⑥ビデオデッキ ⑦OHP(普通紙対応) ⑧マイク ⑨有線 ⑩webカメラ
A棟9階 会議室1・2	29.98 m ² 23.51 m ²	(主な設備) ①スクリーン ②PCプロジェクター ③DVDプレーヤー ④音響設備	

K棟5階 CSSセンター (主な設備)

<ul style="list-style-type: none"> ・高機能シミュレータ ・気管支鏡トレーナ ・気管挿管訓練モデル ・フィジカルアセスメントモデル フィジコ ・呼吸音聴診シミュレータ ・採血静注シミュレータ ・手背の静注シミュレータ ・装着式 上腕筋肉注射シミュレータ ・殿筋注射2ウェイモデル ・吸引シミュレータ ・男性導尿・清拭モデル ・女性導尿・浣腸トレーニングモデル ・内視鏡下手術トレーニングセット ・中心静脈カテーテル挿入シミュレータ ・手術用顕微鏡 ・万能型成人実習モデル さくら ・胸部診察トレーニングシステム イチロー ・点滴・採血トレーナ ・腕部付中心静脈挿管シミュレータ ・内視鏡用スコープ ・動脈採血シミュレータ ・CVC 穿刺挿入シミュレータ II ・点滴・採血トレーナ ・末梢挿入中心静脈カテーテル PICC シミュレータ ・腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ “ルンバールくんII” ・気道管理トレーナ ・アンブマン・アドバンス (ACLS) ・アンブマン・ベーシック (BLS) ・Sherpa-PLUS CPR マネキン 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児気道管理トレーナ ・新生児気道管理トレーナ ・エアシムジュニア ・未熟児モデル (男) ・未熟児モデル (女) ・喉頭鏡セット ・DVD 視聴覚教材 ・小児の手背静脈注射シミュレータ ・超音波診断ファントム上腹部病変付モデル【ABDFAN】 ・ポータブルエコー ・水銀血圧計 ・教育用聴診器 ・ポータブル吸引器 ・超音波診断ファントム上腹部術中モデル【IOUSFAN】 ・ALS シミュレータ ・レサシジュニア ・レサシベビー ・Neonatal Resuscitation Baby ・気道管理トレーナ (新) ・気管支樹モデル ・ルールダルサクシオンユニット ・ルールダルシリコンレサシテータ ・内視鏡光学視管スコープ ・MATT トレーナ (ベーシック) ・心臓超音波トレーニングシミュレータ ハートワークス ・A-LAP MINI (採点型縫合訓練シミュレータ) ・褥瘡ケアシミュレーター
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(様式例第6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 亀田 俊明
管理担当者氏名	医療情報管理室 室長 [REDACTED] (診療情報管理士)

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報管理室	中央保管 (一元連番方式)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	救命救急業務課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	研究研修部	
	閲覧実績	医療情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第7) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 亀田 俊明
閲覧担当者氏名	医療情報管理室 室長 [REDACTED]
閲覧の求めに応じる場所	カスタマーサービス部 (Kタワー1階)
閲覧の手続の概要 ・ 公的機関からの依頼については、医療情報管理室にて受付け、対応する。その他については、カスタマーサービス部にて受付け、医療情報管理室にて対応する。	

前年度の総閲覧件数		4,541 件
閲覧者別	医師	(医師を含む医療機関) 220 件
	歯科医師	個人 3,996 件
	地方公共団体	(公的機関含む) 280 件
	その他	45 件

(様式例第8) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2 回	
委員会における議論の概要		
第1回：令和4年6月3日(金)		
【概要】		
<u>令和3年度事業報告</u>		
①共同利用について 共同利用の推進実績について		
②救急医療の提供実績について		
③地域医療従事者に対する研修・講習状況について 各種研修会開催の実績と内容について		
④患者様に対する相談実績について		
⑤診療情報の開示実績について		
⑥電子カルテの閲覧について		
 <u>令和4年度計画について</u>		
①共同利用について 地域医療連携室より働きかけ		
②医療従事者研修について 研修内容の要望		
③その他（院内状況説明）		
・ S棟4階 - 事務棟5階の通路について		
・ E棟3階透析関連施設から医師オフィス棟への変更について		
・ 災害に対する訓練及び教育の実施について		
 第2回：令和5年2月17日(金)		
【概要】		
<u>令和4年度計画の実施状況について</u>		
①共同利用について（現状報告） 地域医療連携室より働きかけ		
②医療従事者研修について（現状報告）		
③その他（院内状況説明）		
・ E棟3階透析関連施設から医師オフィス棟への変更について		
・ 図書室移転について		
・ 発熱外来について		
・ 災害に対する訓練及び教育の実施状況について 実地訓練(地震・津波避難訓練、地震発生後初動対応、消火器・消火栓訓練、 火災対応・避難経路確認・避難誘導、フレスト担架での搬送訓練)、座学(災害概論、 消防設備・施設設備説明、火災・地震・津波対応)、防災訓練(火災想定総合訓練、 消火器・消火栓訓練)		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第9) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・カスタマーコンタクトセンター
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医師、ソーシャルワーカー、看護師、ケアマネージャー、 カスタマーコンタクトセンター相談員
患者相談件数	(総合相談室) 3,919 件 (カスタマーコンタクトセンター) 959 件 合計 4,878 件
患者相談の概要	
※別紙参照	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

地域医療支援部 総合相談室

総合相談室はソーシャルワーカー(以下、SW)とケアマネジャー、退院支援看護師(以下、退院支援Ns)が協働する部署である。当室のケアマネジャー・退院支援Nsにはベテラン看護師(以下Ns)も配属され、多職種混成で各専門職の視点を活かすことを特徴としている。K棟玄関すぐ右手のカウンターの後ろにある地域医療支援部の広いオフィスには、総合相談室の他、訪問診療、訪問看護、訪問栄養士、訪問リハビリ、地域医療連携室、亀田産業ホームケアサービスの訪問介護員とケアマネジャーらが席を共にし、朝には約80人が顔を合わせる。当居宅介護支援事業所は特定事業所の認可を受け、病院からの重介護者を多く受け持っている。

2022年度の特記

2022年度も前年に引き続き、COVID-19対策に大きく影響を受けた。当院だけでなく、地域の複数の基幹病院等がCOVID-19病棟を作らざるを得ない状況が続き、それによる一般病床や地域包括ケア病棟の大幅な減少が地域全体の病棟稼働力を激減させ、引いては救急現場をひっ迫し、緊急入院を困難にさせた。

日々の業務や生活においても、感染しない、感染させないを心がけ、予防策を徹底し、COVID-19に関する院内情報を部内に周知した。近隣の医療機関、介護施設、事業者等とCOVID-19の情報交換もタイムリーに行い、当院への影響を予測し、院内感染対策本部やベッドコントロール室等と共有した。院内の予防策が、患者家族や地域に影響し、地域の情勢が院内のベッドコントロールに直接影響することを実感した。千葉県南総地域の感染状況のみならず、千葉県東北の状況が、南房総住民の医療供給にまで影響していることも感じた。

全館面会禁止の中、総合相談室での家族との面談や、病棟での家族やケアマネジャーへの介護指導やリハ見学、市町の介護調査に関して、ゲートキーパー役を果たし、感染管理本部と相談し、慎重チェックとした。それを各市町や介護保険事業所にも説明し、通知し、協力を得られた。

当院居宅介護支援事業所では通常業務に加え、全館面会禁止に伴い、市町村からの介護調査委託を大量に受託することとなった。

スタッフ

ソーシャルワーカー 14名 (精神保健福祉士4名、亀田リハビリテーション病院3名を含む)

ケアマネジャー 9名 (看護師2名、社会福祉士3名、介護福祉士2名、ヘルパー2名)

退院支援看護師 5名

地域へのアプローチ

・地域訪問：地域医療連携室と病院訪問は3件した。リモートでの交流も医療機関とした。退院支援Nsも院外の訪問看護ステーションへの訪問は自粛した。

・地域のベッド状況の把握：毎週水曜に20数件の近隣の一般病院・地域包括病棟・療養型病院等に電話し、空床状況を聞いた。COVID-19の感染状況や病棟閉鎖、再開情報、面会禁止情報等を情報交換した。

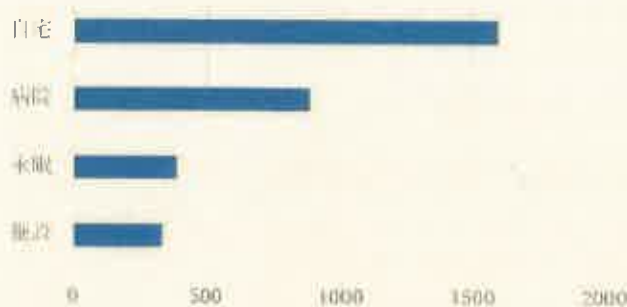
業務統計

2022年度、総合相談室が関わったケースは科介入を含めると3919件(2021年度4306件、以下同様)だった。うち、外来は904(925)件、入院は2947(3137)件、受診歴のなしは146(102)件だった。亀田リハビリ病院は303(327)件、受けていた。

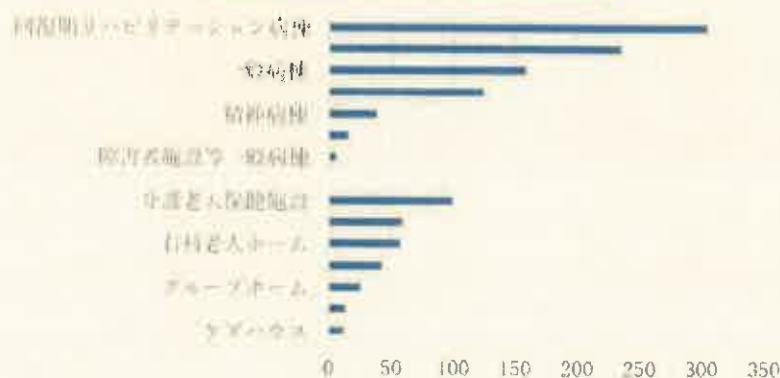
総合相談室が関与した退院数(亀田リハビリ病院含む)は 3252(3552)件だった。病院全退院数の 15% (17.5%)に関わっていた。転帰先は自宅が 1593(1841) 件、病院へは 888(921)件、施設へ 332(330)件であった。自宅退院のうち訪問看護や訪問診療へ繋いだのは 336(379)件であった。COVID19 の影響か、在宅医療を希望する人は増えたままである。一般病院へは 157(180)件、療養型病院は 247(233)件、包括ケア病棟は 124(103 件)、回復期リハビリ病棟へは 305(352) 件で、うち、亀田リハビリ病院へは 238 (290)件ほど転院した。施設は老健施設が多いが、薬価等の関係でサ高住や有料老人ホームが増加し、追いつきそうである。当院から転院や施設入所は、近隣から遠方まで、それぞれ 100 か所以上の多岐にわたっている。死亡は 388(401)だった。

在宅医療関係も、訪問看護ステーションや在宅クリニック等、それぞれ 40 か所以上の様々な機関に繋ぎ、自宅での療養生活を引き続き医療面から支えて頂いた。

2022年度 転帰先



2022年度 転院・施設入所



* P S W (精神科ソーシャルワーカー) の業務

4名の PSW が、当クリニックや救急外来受診の患者さま、当院精神科病棟や身体科病棟で合併症のある患者さまを対象に相談や依頼に応じた。合併症治療に関しては特に、精神科リエゾンチームの一員として活動し、当院の治療機能を更に活かしてもらうべく、近隣の精神科病院との間で円滑な連携体制を築くことに努めてきた。

一方、早期退院の為に地域援助者を交えたカンファレンスを積極的に開催し、退院後の再発・悪化の予防や早期介入を目的とした精神科訪問看護指導を実施した。

中核地域生活支援センターひだまりとPSW交換研修は2022年2月一杯で一旦終了したものの、その後も活発な連携を行っている。地域と病院のお互いの特徴を理解し、近い将来、地域を包括した支援を構築したいと考えている。

〈病院内〉

- ・精神科訪問看護：Nsと共に実施：45件
- ・退院前訪問指導：0件(外出禁止)
- ・リエゾン回診／カンファレンス：医師、看護師及び臨床心理士と共に参加（毎週水曜日）
- ・精神科病棟プログラム(入院生活技能訓練)：休会中
- ・行動制限最小化委員会：医師、看護師及び臨床心理士と共に参加（毎月1回）

〈病院外〉

- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム実務者会議：安房地域／夷隅地域（毎月～2月に1回）
- ・安房地域心の健康のつどい実行委員会（毎月）
- ・その他（不定期開催）：鴨川地域精神障害者家族会オレンジ会への支援（毎月1回）

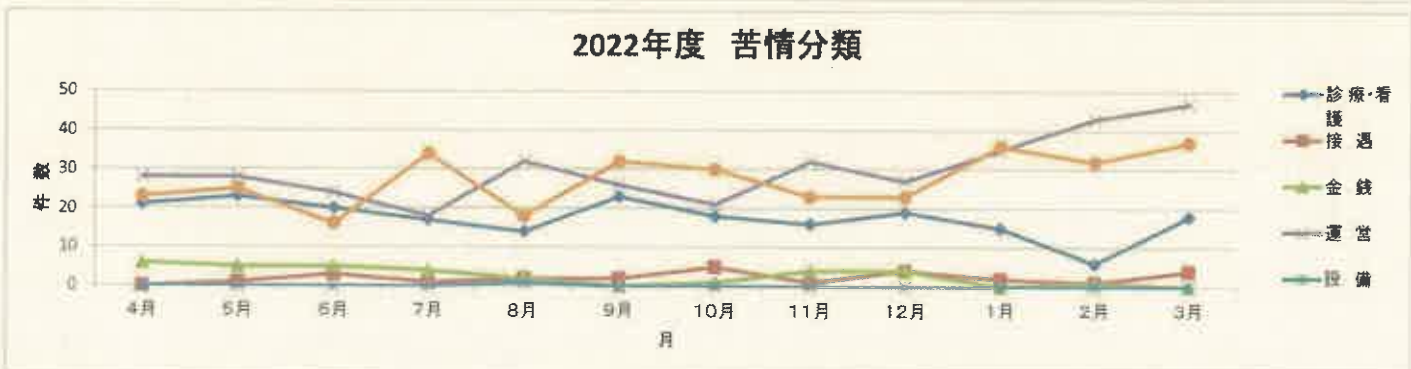
その他の活動

がん相談支援センター、安房地域難病相談支援センター、ノーマリゼーションセンター（当院の障害者雇用）も担っており、亀田病院に通う患者さま以外の方々への支援も行っている。

2022年度
カスタマーコンタクトセンターへの苦情・相談件数

対応分類	項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積件数
	電話対応	69	73	65	66	58	77	64	60	66	82	75	92	847
	面接対応	2	3	2	2	5	4	4	6	2	0	0	3	33
	Eメール対応	6	6	1	5	6	2	7	9	9	6	8	11	76
	手紙対応	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
総数	78	82	68	74	69	83	75	76	77	88	83	106	959	

苦情分類	項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積件数
	診療・看護	21	23	20	17	14	23	18	16	19	15	6	18	210
	接遇	0	1	3	1	2	2	5	1	4	2	1	4	26
	金銭	6	5	5	4	2	0	1	4	4	0	1	0	32
	運営	28	28	24	18	32	26	21	32	27	35	43	47	361
	設備	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	23	25	16	34	18	32	30	23	23	36	32	37	329	
総数	78	82	68	74	69	83	75	76	77	88	83	106	959	



2022年度苦情相談件数内訳

